

# 豊田佐吉の代表的発明品(木製人力織機、自動織機)

豊田佐吉は、幼い頃から身近に見た織機の改良を行い、明治24年に豊田式木製人力織機で最初の特許を取得しました。その後も発明・改良に取り組み、多くの優秀な動力織機や自動織機を完成させました。

やがて、大正13年には世界最初の発明である完全な無停止杼換式(むていしひがえしき)豊田自動織機(G型)を完成させます。このG型自動織機は、布を織るスピードを少しも落とすことなく、よこ糸が自動的に補充できるなどさまざまな工夫がなされた画期的な織機であり、世界の紡織機業界のトップメーカーであった英国のプラット社に当時の金額で100万円という高額で技術供与(権利譲渡)しました。

この発明により日本の紡織機工業及び繊維産業は、世界的レベルへと躍進していきました。その後、この資金をもとに我が国自動車産業発展のスタートが切られています。



豊田式木製人力織機



無停止杼換式豊田自動織機(G型)